標準学力調査の結果と分析について

正答率

【国語】

	１年	２年	３年	４年	５年	６年
本校	７７．８	８７．８	７４．３	７２．３	７８．１	７２．２
廿日市市	７６．９	８３．３	７６．９	７３．５	７７．０	７４．１
全国	７４．６	８２．０	７４．４	７２．０	７２．７	７４．５

【算数】

	１年	２年	３年	４年	５年	６年
本校	８８．１	７６．７	７１．０	６８．８	６４．７	６９．１
廿日市市	８６．３	７４．０	７５．９	７０．０	６５．８	７１．１
全国	８２．０	７０．０	７１．１	６８．３	６０．０	７１．６

学年別の主な解答の傾向

１年	国語	◎漢字の読みや助詞の使い方の問題の正答率は高かった。 ●物語の読み取りや文章を書くことの正答率が低かった。
	算数	◎基本的な計算問題（たし算・ひき算等）の正答率が高かった。 ●応用問題（１０のまとまりを作って繰り上がりのある問題）に課題があった。
２年	国語	◎漢字の読み書きや条件に合わせて文章を書く問題の正答率が特に高かった。 ●相手に伝わるように，事柄の順序を考えることに課題があった。
	算数	◎乗法を活用して立式する文章問題の正答率が特に高かった。 ●１０００までの数の表し方の問題について課題があった。
３年	国語	◎漢字やローマ字等の言語についての問題の正答率が高かった。 ●物語や説明文等の内容の読み取りに関する問題に課題があった。
	算数	◎身近にあるものの長さを推察して，適切な単位を使う問題の正答率が高かった。 ●コンパスを使って等しい長さを見つけることに課題があった。
４年	国語	◎漢字の読み書きについての問題の正答率が高かった。 ●指定された条件で文章を書くことに課題があった。
	算数	◎折れ線グラフの読み取りに関する問題の正答率が高かった。 ●分度器や三角定規等の使い方や平行四辺形の作図に関する問題に課題があった。
５年	国語	◎漢字の読み書きや話し合いの内容の聞き取りに関する問題の正答率が高かった。 ●指定された条件で文章を書くことに課題があった。
	算数	◎小数のかけ算・わり算・たし算・ひき算の基本的な計算問題の正答率が高かった。 ●平均から全体量を求めたり，五角形の内角を求めたりする問題に課題があった。
６年	国語	◎漢字の読みや物語の内容を読み取る問題の正答率は高かった。 ●目的に応じて，資料を活用し，文章をまとめる問題の正答率が低かった。
	算数	◎分数のかけ算やわり算等の基本的な計算の正答率は高かった。 ●文章の意味を理解して立式したり，問題場面をイメージし，図示したりすることに課題があった。